

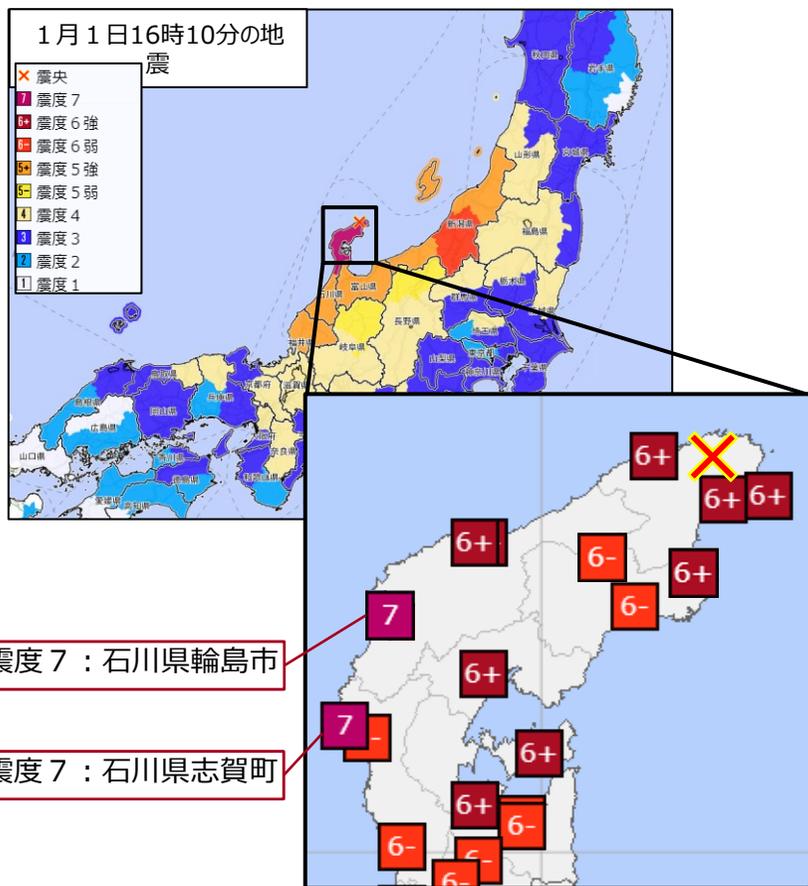
能登半島地震の道路啓開・復旧状況

- 1. 地震及び被害の概要**
- 2. 緊急復旧(道路啓開)方針・経緯**
- 3. 今般の震災を踏まえた取組みについて**

1. 地震及び被害の概要

- 令和6年（2024年）1月1日16時10分にマグニチュード（M）7.6、深さ16kmの地震が発生
- 石川県輪島市、志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測。
- この地震により石川県能登に対して大津波警報を、山形県から兵庫県北部を中心に津波警報を発表し、警戒を呼びかけ。
- 気象庁では、令和2年（2020年）12月以降の一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。

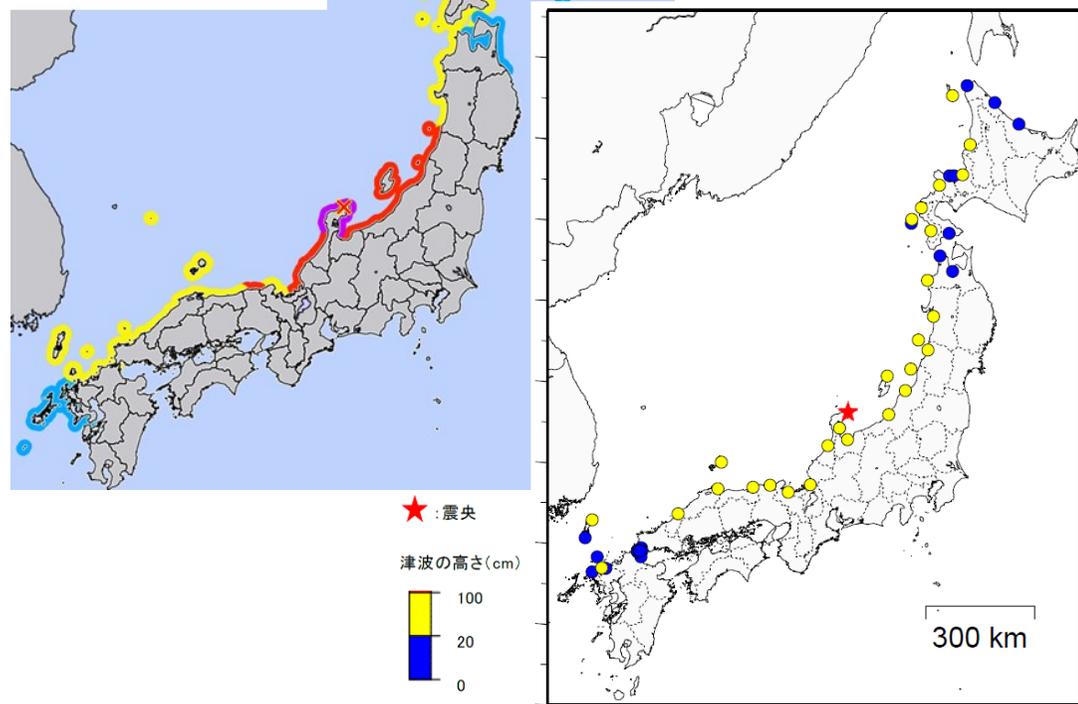
■ 震度分布図



■ 津波警報等発表状況（1月1日16時22分発表）



■ 津波の観測状況



能登半島地震における道路の被災状況

国道249号法面崩落(珠洲市・道の駅「すず塩田村」付近)



R6.1.2 時点

国道249号大谷ループ橋(珠洲市)



R6.1.8 時点

液状化被害 (内灘町)



国道249号大谷トンネル(珠洲市)



R6.1.6 時点

能越自動車道の被災状況

- 平成25年の土工締固め管理基準値変更後以降に施工、排水対策実施箇所は、軽微な被災。
- 過去（平成19年）の地震で大きく被災し、補強や排水等の対策を講じた箇所は、軽微な被災。
- ただし、集水地形の沢埋め高盛り土は、大きく被災。

沢埋め部の高盛り土被災
(能登大橋南側)



2. 緊急復旧(道路啓開)方針・経緯

- 半島北側沿岸部を通過する国道249号をはじめ、大規模崩落が多数発生。
- 半島のためアクセス道路が限定されるため、点在する集落が多数孤立。

写真①



新たな崩落が発生

写真③



1月3日時点作業状況
((主)七尾輪島線)

写真⑥



沢埋め部の高盛土被災
(能登大橋南側)

写真⑤



震央

被災箇所多数
孤立多数

写真⑤



国道249号トンネル坑口崩落

写真④



1月3日時点の作業状況
(珠洲道路)

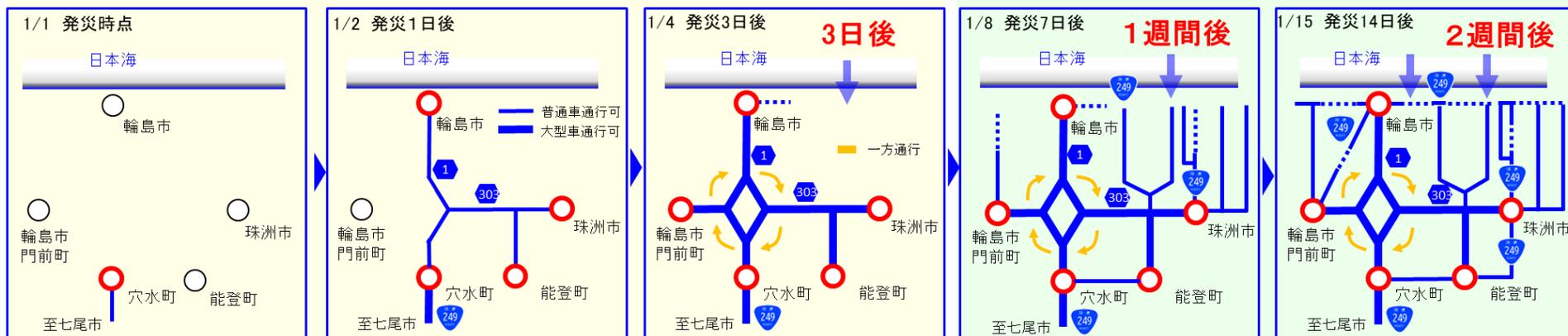
写真②



電線にかかる倒木が発生

<緊急復旧方針>

○孤立集落の解消に向け、県・自衛隊と連携し、**陸・海・空からくしの歯状に緊急復旧**



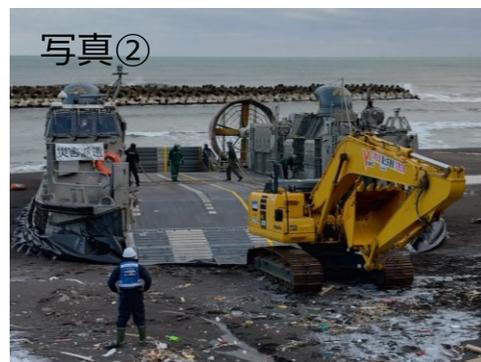
発災後3日で縦軸・横軸ラインを確保

1/9に主要な幹線道路の約8割、
1/15に約9割の緊急復旧が完了

○緊急復旧（道路啓開）作業の様子



県道1号 輪島市三井町での啓開作業（1月3日撮影）



深見海岸 海側からの重機運搬（1月14日撮影）



道路の緊急復旧の状況(7月30日時点)



国道249号中屋トンネル
(中屋トンネル工区)
 ・9月末までに1車線通行確保予定
 ・R6年内にトンネルの2車線通行確保予定



国道249号輪島市野田町
(千枚田工区)
 ・R6年5月2日(木) 1車線通行確保済
(緊急車両・地元車両通行可能)
 ・R6年内に2車線通行確保予定



国道249号輪島市町野町大川～浜田町
(大川浜工区)
 ・R6年内に1車線通行確保予定



国道245号珠洲市
(逢坂トンネル工区)
 R6.1.2時点
 ・R6年内に1車線通行確保予定



国道249号鳥川橋
 R6.1.8時点



国道249号大谷シネル
 R6.1.6時点



主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割	⇒ 約9割
うち国道249号 沿岸部※1	約2割	⇒ 約8割 (迂回路を考慮:約9割)
沿岸部への到達 ※2	6方向	⇒ 13方向

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所、※2: 内陸側・海側の両方

孤立地区数の推移

1月5日8時	33地区 (最大3,345人)
1月19日	実質的に解消 ※4

※3: 内閣府防災資料より

※4: 2/13に全て解消

生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧

優先復旧の要望箇所 への対応状況	43/43箇所 (5月8日完了)
---------------------	---------------------

※5: 水道、電力、通信、放送事業者より間接取り

凡例

- 国交省対応(走行可能)
- 県対応(走行可能・この他にも作業を実施)
- 自衛隊対応(走行可能)
- 自動車専用道路(走行可能)
- × : 被災規模 大
- × : 被災規模 大(緊急車両等の通行を確保済)
- : 沿岸部への到達点

3. 今般の震災を踏まえた取組みについて

○自衛隊の協力を得て、輸送艦「おおすみ」およびL C A C（エア・クッション型揚陸艇）にて輪島市深見町に道路啓開部隊や資材を陸揚げ



X (旧Twitter)

【2024/1/14 陸揚げ状況動画】

【公式】国土交通省 北陸地方整備局 @mlit_hokuriku

#令和6年能登半島地震により被害を受けた能登半島沿岸部にある国道249号の緊急復旧を加速するため、防衛省と連携し、陸路でアクセス困難であった深見海岸（輪島市深見地区）への資機材搬入を実現しました。

#国土交通省 #防衛省 自衛隊 #道路啓開 #TECFORCE #L C A C

午後2:52 · 2024年1月14日 · 26.9万 件の表示

🗨️ 27 🔄 1,615 ❤️ 5,170 📌 86

閲覧数	いいね♡	リポスト
27万	5,170	1,615

※国土交通本省でも掲載しており、163万回の閲覧あり
 (1月31日13時00分集計時点) 11



ホバークラフトにて陸揚げ



直轄権限代行による本格復旧に向けた体制構築

- 能登半島地震において、国が石川県に代わり、国道249号沿岸部（延長53km）、能越自動車道（延長38km）について本格的な災害復旧を代行することを決定
- 復旧・復興を加速させるため、北陸地方整備局に能登復興事務所を設置（令和6年2月）



写真① 国道249号大谷トンネル内の崩落



写真② 国道249号沿岸部の大規模土砂崩れ



▲能登復興事務所開所式の様子



写真③ 能越自動車道の道路崩壊



写真④ 能越自動車道の道路崩壊

権限代行とは、国土交通大臣が指定区間外の一般国道の新設・改築及び災害復旧に関する工事を行う場合に、その区間について、本来の道路管理者（都道府県又は市町村）に代わってその権限を行うことです。

- 地震発災直後の1月2日から、日本建設業連合会が道路啓開等の緊急復旧に従事。
 - ・累計32班12社により、国道249号沿岸部、能越自動車道等、また県道・市道・町道等のライフラインの復旧関連路線において、24時間体制で緊急復旧にあたり、概ね2週間で半島内幹線道路（約9割）を緊急復旧
- 県道・市道・町道の道路啓開等の緊急工事において、石川県建設業協会等の地元建設業者が地域の守り手として全力で実施。
- 市町からの要請に基づき、石川の地元建設業を補完する形で、新潟及び富山県の建設業協会が道路段差解消等の緊急工事にあたる。

道路啓開 緊急復旧



道路の段差解消作業



○ 基幹となる能越自動車道等が通行止めとなる中、限られた道路への交通集中により大規模な交通渋滞が発生する恐れがあることから、有識者、行政、及び交通事業者等で構成される「石川県災害時交通マネジメント会議」を設置する等、包括的な交通マネジメントを実施。

○通行状況の確認

被災直後より、ETC2.0や民間のプロブ情報から得られる通行実績※のデータを人口メッシュに重ね合わせることで、居住地域へのアクセス状況を確認。

※右図中の青線箇所が通行実績



▲プロブ通行実績 (1月28日8時～1月30日8時)
※人口メッシュ(500m) (総務省) 道路状況に関する地域メッシュ統計(令和2年)



▲能登半島へのアクセスルート図 (1月30日時点)

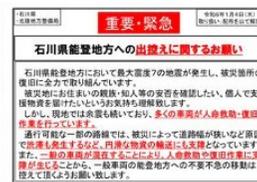
○出控えに関する呼びかけ

1月4日以降、石川県と北陸地整が合同で、渋滞や雪の状況を踏まえながら一般車両の移動抑制を要請。

※1月6日より「のと里山海道」における一般車両の通行規制を開始。



▲被災直後の国道249号 (穴水町乙ヶ崎)



▲記者発表資料 (1月4日)

○石川県災害時交通マネジメント検討会 (第1回1/12 第2回1/19)

<メンバー>

国交省、石川県、市町村、有識者、自衛隊、鉄道会社、バス会社 など

<主な議論>

- ・ 一般車両への出控え要請の継続
- ・ ピーク時間帯をずらした資材運搬などの行動変容の呼びかけ など



▲開催の様子 (web)

○道路復旧見える化マップ

1月12日より、緊急復旧の状況や交通状況等をweb地図上で閲覧できる「道路復旧見える化マップ」を公表。

平均旅行速度や、実走車両からの報告をもとに、都市間の所要時間を公開。



▲道路復旧見える化マップ

○災害復旧関係車両向け案内マップ

1月26日より、緊急車両や支援物資搬送等の災害復旧車両が被災地を通行する際の参考として「災害復旧関係車両向け案内マップ」を公開。

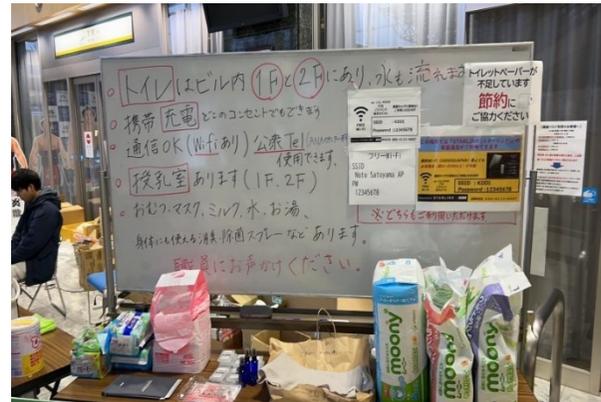
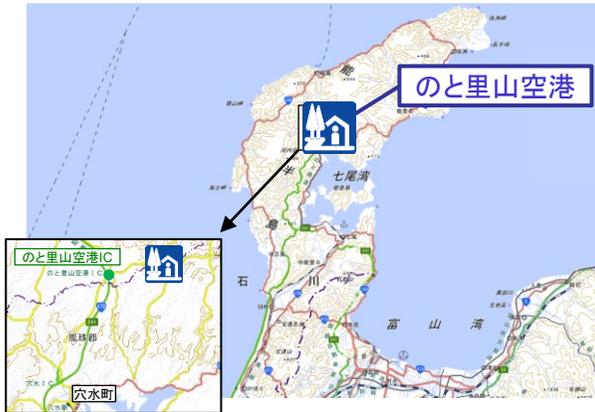


▲災害復旧関係車両向け案内マップ (1月26日時点)



道の駅の広域的な防災機能の発揮

- 「防災道の駅」に選定されている「のと里山空港」(石川県輪島市)では、発災直後より避難者へ水や毛布などの備蓄品を提供
- その後、支援物資の集配拠点や道路啓開活動の拠点となる「道路啓開支援センター」として活用されるなど、広域防災拠点としての機能を発揮



支援物資の提供



支援物資の集配拠点



支援物資の運搬



災害対応車両の集結



災害対応の拠点

電柱倒壊の影響

- 国土交通省では、地震発生の翌日(1/2)から幹線道路の応急復旧に着手。
- 法面崩壊や家屋倒壊のほか、電柱倒壊や倒木の電柱接触等により応急復旧作業に支障。
- 電柱・電線撤去作業は、道路管理者(土木業者)では対応できないため、電線管理者の協力が必要不可欠であり、電線管理者の作業待ちが発生。
- 道路管理者、電線管理者等関係者において「災害時(地震)の電力復旧に向けた連絡調整会議」を設置し、関係者間で復旧作業箇所の調整を行い作業を効率化。



石川県輪島市 国道249号



石川県輪島市 広域農道



石川県穴水町 県道303号

道路啓開の実効性の向上

○水道、電力、通信などの復旧速度や復旧レベルが道路ネットワークの機能に左右されることを踏まえ、生活インフラの事業者や関係行政機関とさらなる連携が必要

■ 宝立浄水場（珠洲市）の事例



進入路の啓開を現対本部で調整



道路の緊急復旧で大型車が通行可能に

